

ソフィール協会総会を3年ぶりに開催しました。たくさんの方の協会の皆様に参加いただき、非常に有意義な時間となりました。

勉強会ではソフィールとミニソフィの動画制作でお世話になりましたOTONAMIEの村山代表に今期よりリニューアル予定のソフィール協会ホームページの概要の説明と、SNS戦略について講演いただきました。

お忙しい中、遠方よりお越し下さりありがとうございました。



【開催概要】

日時:2023年5月25日(木) 14:00~16:30
場所:アストプラザ津 会議室1(三重県津市)



ソフィール NEWS

2023.5 vol.34

全国234カ所に導入
環境型トイレ浄化槽

SUSTAINABLE GOALS
DEVELOPMENT

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



特集
最新の納入事例
「鳴門岬駐車場うずまちテラス」

TOPICS
第13期 ソフィール協会研修会を開催しました



移動可能な循環水洗型トイレ“ミニソフィ”とは？

ミニソフィは汚水処理システムと多目的トイレを一体化した移動可能な循環型トイレです。20フィートのコンテナ内に循環型汚水処理システム(ソフィール)をコンパクトに収納することで「ゆったり」「広々とした」トイレ空間を創出しました。車いす利用者、高齢者、小さなお子様連れの方などに安心して使っていただける多目的トイレです。



詳しくは動画をご覧ください ※音が出ますのでご注意ください



雨水貯水・活用システム“アメリオ”とは？

アメリオはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。整雨レベルⅣ(洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン)を目標水質とし、綺麗な雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗車水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水など、さまざまな用途で有効活用できます！



詳しくは動画をご覧ください ※音が出ますのでご注意ください

【浄化技術】立命館大学 久保教授発明の特許技術 (アルコ㈱が実施許諾契約済)

世界に伝えたい！
約4分の動画公開中！



ソフィールの納入事例 随時更新中！

アルコ(株)のホームページで最新の施工事例を随時更新しています！用途別の納入事例もご紹介していますので、是非ご覧ください。



ソフィール 実績 検索

ソフィール協会

三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)
TEL 059-213-8811
FAX 059-213-8880
URL <http://sofil-kai.net/>
MAIL info@alcoinc.co.jp



新しいHPが
できました！

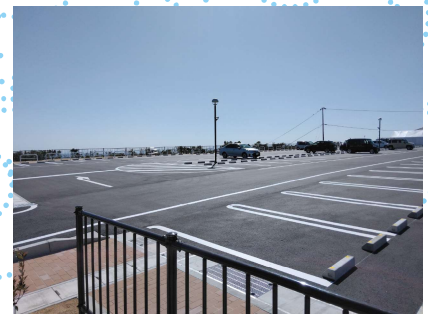


兵庫県南あわじ市「鳴門岬駐車場うずまちテラス」

環境技術
実証事業
ETV 環境省
本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています。
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成28年度 実証試験 No.030-1602
平成 年度 毎年実証試験 No.030-

設計・施工のポイント

少しでも多くの駐車台数を確保する為、「ソフィール」の心臓部である「土壤浸潤槽」の配置には工夫が必要でした。駐車場の脇に土壤浸潤槽を縦長に設置し、埋戻して通路にすることで“デッドスペース”を活用した平面配置の事例となっています。大鳴門峡を見渡せる絶景のテラスや淡路島の特産品が並ぶこの「うずまちテラス」には平日にも関わらずたくさんのお客様が訪れ、賑わいを見えています。人気のあわじ島バーガー「淡路島オニオンキッチン」は行列ができる人気ぶりです。当施設は道の駅うずしおに代わり、2023年3月5日～2025年3月まで仮営業する予定です。



特集 最新の納入事例

PRODUCTS

鳴門岬駐車場 うずまちテラス

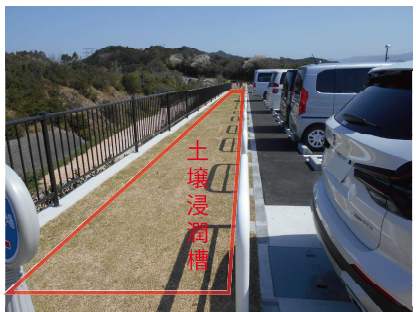


ソフィール循環利用が採用されました!

鳴門岬駐車場 うずまちテラス



リニューアル工事のために一時休業している「道の駅うずしお」の代わりに臨時駐車場として利用されていた南淡路駐車場施設(笹山駐車場)に、「鳴門岬駐車場 うずまちテラス」がオープンしました。玉ねぎだらけのこの施設、名前の由来は、鳴門の渦潮待ち、渦潮の街、バス待ちの3つの“MACHI”をかけています。大阪・関西万博や大鳴門橋桁下自転車道の整備を見据え、関西圏に加え海外等の遠方から訪れる観光客の受け入れ環境を整え観光周遊促進を図るため、交通拠点となるハブ機能を有する施設として整備されました。休憩所を備えた駐車場としてはもちろん、南あわじ市を周遊するバスのハブ的停留所としても機能します。



DATA	
場所:	兵庫県南あわじ市
施工年月:	2022年12月
人槽:	256人槽
汚水量:	14.5m ³ /日
発注者:	兵庫県 南あわじ市役所
仕様:	様: 処理水循環利用

採用の経緯

計画予定地が瀬戸内海環境保全特別措置法(通称:瀬戸内法)の対象となっており、厳しい排水規制を避ける為、排水総量を抑える目的で「浄化槽処理水の循環利用」が検討されました。

- ① 高度処理浄化槽としての安定した処理能力
- ② 「循環利用」での多くの実績を高く評価され、工法を採用いただきました。



土壤微生物膜合併処理浄化槽“ソフィール”とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム『土壤微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行えます。処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。



◀ 環境省 平成28年度環境技術実証事業(E TV事業) 自然地域トイレし尿処理技術分野の実証試験を実施しました

